

能のリズム難しいね

リーデンローズ親子ら100人挑戦



「こどもの日」の五日、福山市松浜町のリーデンローズで、体験イベント「お能で遊ぼう！」が開かれ、紙芝居やリズム遊びなどを通じて、親子らが能に親しんだ。

能の普及に取り組む喜多流大島能楽堂（福山市光南町）のおおしま能学習会が、子どもや子育て中の両親らに日本の伝統文化に触れてもらおうと初めて企画。福山、尾道市などから小学生以下の子どもも三十六人を含む計約百人が参加した。

紙芝居で、酒の妖精が現れ、親孝行の青年に滅

大島さん（手前右）の指導で、能の足運びを体験する子どもたち

らない酒つぽを与える曲目「狸々」の内容を紹介した後、能楽師の大島衣恵さんらが節のついた「謡」や謡に合わせ舞う「仕舞」を実演。参加者は、大島さんらと一緒に

全身を使ってリズムを取ったり、能の足運びに真剣な表情で取り組んだ。バレエを習っていると、いう幼稚園児山田梨加ちゃん（五）は「福山市はリズムを取るの難しかったけど楽しかった」とにっこり。母の恭子さんは「能を子どもに見せなかった。能独特の引き締まった雰囲気も感じられ勉強になった」と話していた。（西崎哲也）

07/05/06
山陽新聞

back